価値創造とマテリアリティ

マテリアリティ特定プロセス

2023年: マテリアリティ候補の選定

サクセッションプランの一つである経営力育成 (上級) 研修の課題として、研修メンバーがマテリアリティ候補を次のように選定し、経営陣へのプレゼンテーションを実施。

- ① 研修メンバーで討論を行い、当社グループに影響を与える社会課題、133項目を抽出
- ② 社会課題に対して当社グループは何ができるのかという視点(アウトサイドイン)と現在の事業で社会課題をどのように解決できるかという視点(インサイドアウト)でスクリーニングを行い、69項目に絞り込み
- ③ 69項目からキーワードを抽出、さらに当社へのインパクトとステークホルダーへの影響度で重要度を決定し、5つのマテリアリティ候補を選定

2024年: 新たな企業理念と長期ビジョンとの関連性を確認

100周年を迎えるにあたり新たな企業理念「ASAHI-PHILOSOPHY」を制定し、さらにその実現に向けた方針、方向性を示すものとして、新たな長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」を策定。2023年に選定したマテリアリティ候補が、

「ASAHI-PHILOSOPHY」の中核であるパーパス、「情熱と技術で、世界をもっと最適に」および「ASAHI-VISION 2050」で掲げる目指す姿、「ワクワクする未来をカタチに~ Imagination&Creativity ~」

を推進するにあたって矛盾しないか、不足するものはないかを確認。

2025年: マテリアリティの特定

2023年に選定したマテリアリティ候補をベースに文言を整理、最終的に6つのマテリアリティを特定事前に経営陣へのプレゼンテーションを実施し、取締役会での決議を経て2025年2月に最終決定

朝日工業社グループのマテリアリティ

世界をフィールドとし、チャレンジ精神と確かな技術で常にベストソリューションを提供 朝日工業社グループの活躍する領域を世界と位置付け、情熱と技術でお客さまと社会に価値を提供します



旧工業在グループの活躍する視靱を世界と位直付け、情熱と技術でお客さまと在会に価値を提

革新的な技術で新たな価値を創造し、社会課題の解決に貢献 「世界をもっと最適に」するために技術を磨き、新たな価値で社会課題を解決します

脱炭素・環境負荷低減を通じて人・地球の最適な未来を創造 持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷低減への取り組みを加速していきます









「人こそが最大の財産」である人間尊重の考えを基本とし、社員エンゲージメントの向上を目指します

共に成長発展していくための、戦略的パートナーシップを構築

[協創]を成長のカギとして、積極的かつ戦略的にパートナーとの協力と連携を深めていきます

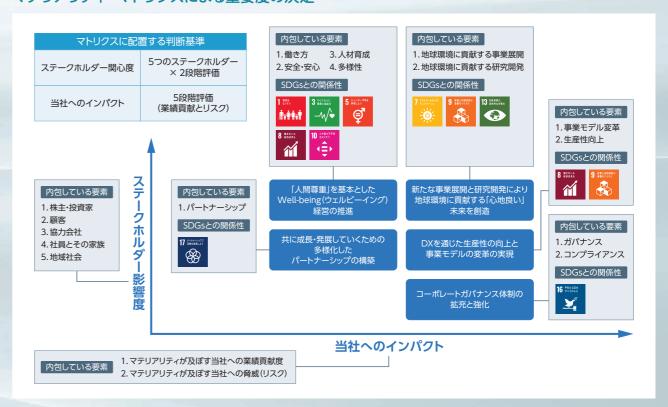
ガバナンスの強化とステークホルダーとの積極的な対話

不変の価値観である「誠実さ」を基軸に、透明性と信頼性を高めて企業価値のさらなる向上を目指します

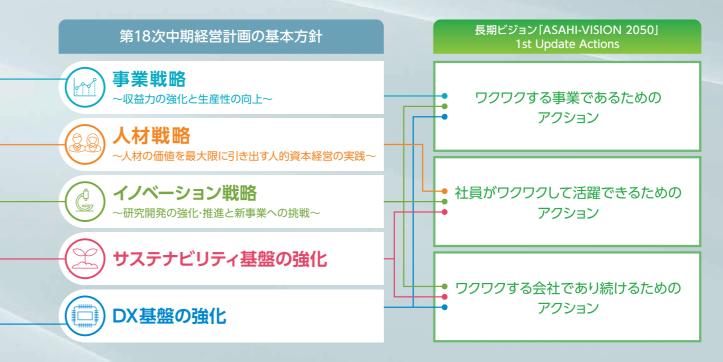
アウトサイドイン、インサイドアウトで抽出したキーワードの一部

- ■新たな事業発展の機会創出
- 再生エネルギー(自然エネルギー)設備の研究開発
- 技術者の能力向上による人的資本経営の取り組み推進(人材育成)
- ■省エネ技術の技術提案と開発
- 脱炭素の推進(カーボンニュートラル)
- 組織の透明性と公平性を担保するためのガバナンス体制強化
- 計員の働きやすさ及びエンゲージメントの向上
- ■働く全ての人に安全な職場環境を提供
- ■多様な働き方の提供
- 現場業務のDX化
- ダイバーシティ&インクルージョン施策の展開
- ■協力会社とのパートナーシップを構築

マテリアリティ・マトリクスによる重要度の決定



マテリアリティと長期ビジョンと中期経営計画の関連



23 ASAHI KOGYOSHA CO, LTD. CORPORATE REPORT 2025 24